

最優秀者（優先交渉権者）を選定しました

新花巻図書館整備基本・実施設計業務委託プロポーザル 第二次審査

市では「新花巻図書館整備基本計画」に基づき、「新花巻図書館整備基本・実施設計業務委託プロポーザル」を実施しました。

11月24日に第二次審査を実施し、最優秀者（優先交渉権者）と次点者を選定しましたので、お知らせします。

た。審査のうち、提案のプレゼンテーションと選定委員によるヒアリングを公開で行い、市民をはじめとする延べ188人が傍聴しました。

プレゼンテーションとヒアリング終了後、選定委員による審査を非公開で行いました。

■選定委員会の構成	
区分	氏名〔所属・役職〕
委員長	乾久美子 〔横浜国立大学大学院／建築都市スクールY-GSA教授〕
副委員長	吉成信夫 〔元みんなの森ぎふメディアコスモス総合プロデューサー、東海国立大学機構参与、明石市本のまち推進プロデューサー〕
委員	小野田泰明 〔東北大学大学院工学研究科教授、一般社団法人日本建築学会会長〕
委員	竹内昌義 〔東北芸術工科大学デザイン工学部建築・環境デザイン学科教授〕
委員	早川光彦 〔富士大学経済学部経済学科教授〕
委員	松田英基 〔花巻市副市長〕

第一次審査の概要

■最優秀者(優先交渉権者)
昭和設計・七三・山田紗子建築設計事務所共同企業体

■二次審査参加者(当日発表順)

審査当日、抽選で決定した発表順(A者～F者)で紹介します。

【A者】 C+A・木村設計A・T共同企業体

【B者】 キッタン・スタジオ・ウエスト設計共同企業体

【C者】 昭和設計+七デ・山田紗子建築設計事務所共同企業体

【D者】 有限会社マル・アーキテ

第二次審査は、第一次審査を通過した6者を対象に、11月24日(月・休)に文化会館で実施しました。

を公開しています

二次審査参加者ごとの提案書および公開プレゼンテーション、ヒアリングの様子を録画した動画、選定委員会による講評を市ホームページで公開しています。



今後の予定

今後の予定

選定委員会による全体講評

第二次審査に提出された6者の提案は、どれも深い経験に裏打ちされた精査を重ねた練度の高い提案であり、その中から一つだけを選ぶ作業は非常に難しいものでしたが、選定委員間でそれぞれの価値観や専門性を尊重しながら真摯な議論を重ね、この結論に至りました。

新しい図書館の設計に当たっては、単純な本の貸し出しだけにとどまらず、人口減少など将来的な環境の変化に対応するため、駅前という利便性の高い場所が図書館敷地として選ばれた意味をくみ取り、使い勝手の良さとしての空間の具現化と、市街地再生の起点として長く市民に親しまれ、利用価値を最大化できる図書館を、厳しいコスト管理の下かつ短い期間の中で練り上げなくてはならないという課題があります。こうした難しい課題に対し、多大な労力を費やし、真摯に取り組んでいただいた皆様に、深く感謝申し上げます。

最優秀者(優先交渉権者) 昭和設計・t デ・山田紗子建築設計事務所共同企業体



選定委員会による講評の概要

- 各ジャンルの図書がつながり、豊かな空間が生み出されている柔軟な構成を持つとともに、図書館の閉館時間後も利用できるスペースを広場に張り出させるなど、ユニークさを併せ持つ提案である
 - 計画全体に、身体の感覚や経験を通じて得られる知識をきっかけにした体験を意図的に設けるアプローチは、賢治の精神とも呼応する
 - 「市民ライブラリアン(図書館ボランティアなど図書館に積極的に関わる人)」に関するアイデアは可能性を備えている一方、実現のための体制作りが不可欠で、行政や関係者を含めてさらなる議論が必要である
 - 複数の事務所、学識者が関わるチーム構成は、各担当者が意見を出し合って、より良い案を持って受け止められたが、実施段階でそれを担保できるかは不透明な部分も多い
 - 最終的には、課題を乗り越えることが出来る強さを備えていると判断され、最優秀者として選定した

